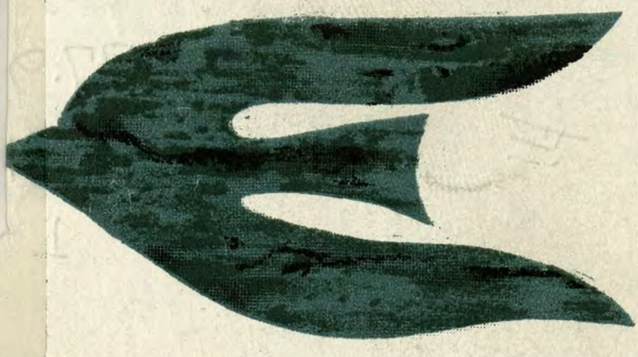
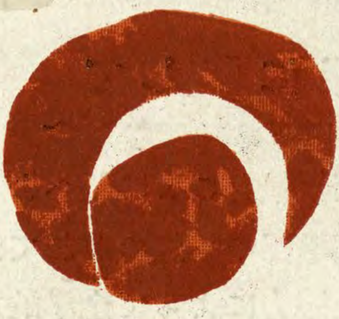
4F学内
芸祭
1954





東京芸術大学図書館

東京芸術大学芸術祭目録

東京芸術大学附属図書館
a18801614795b

1954・11・1・3・4 ～ 7

藝術
和漢書
第 無 號
冊
圖書館之印
3779
G 46
1

芸術祭に際して

一年に一度の学生祭＝芸術祭をこゝに迎へようとしています。今年は美術・音楽両学部の学生のかねてからの念願が達せられ、相互の緊密な協力によって全学的な芸術祭が行われます。〃すぐれた芸術はよき身体から〃という主旨のもとに画期的な運動会が、又私達若人の情熱を横溢させた交歓の前日祭野外仮装劇が共に規律と秩序のうちにくりひろげられます。

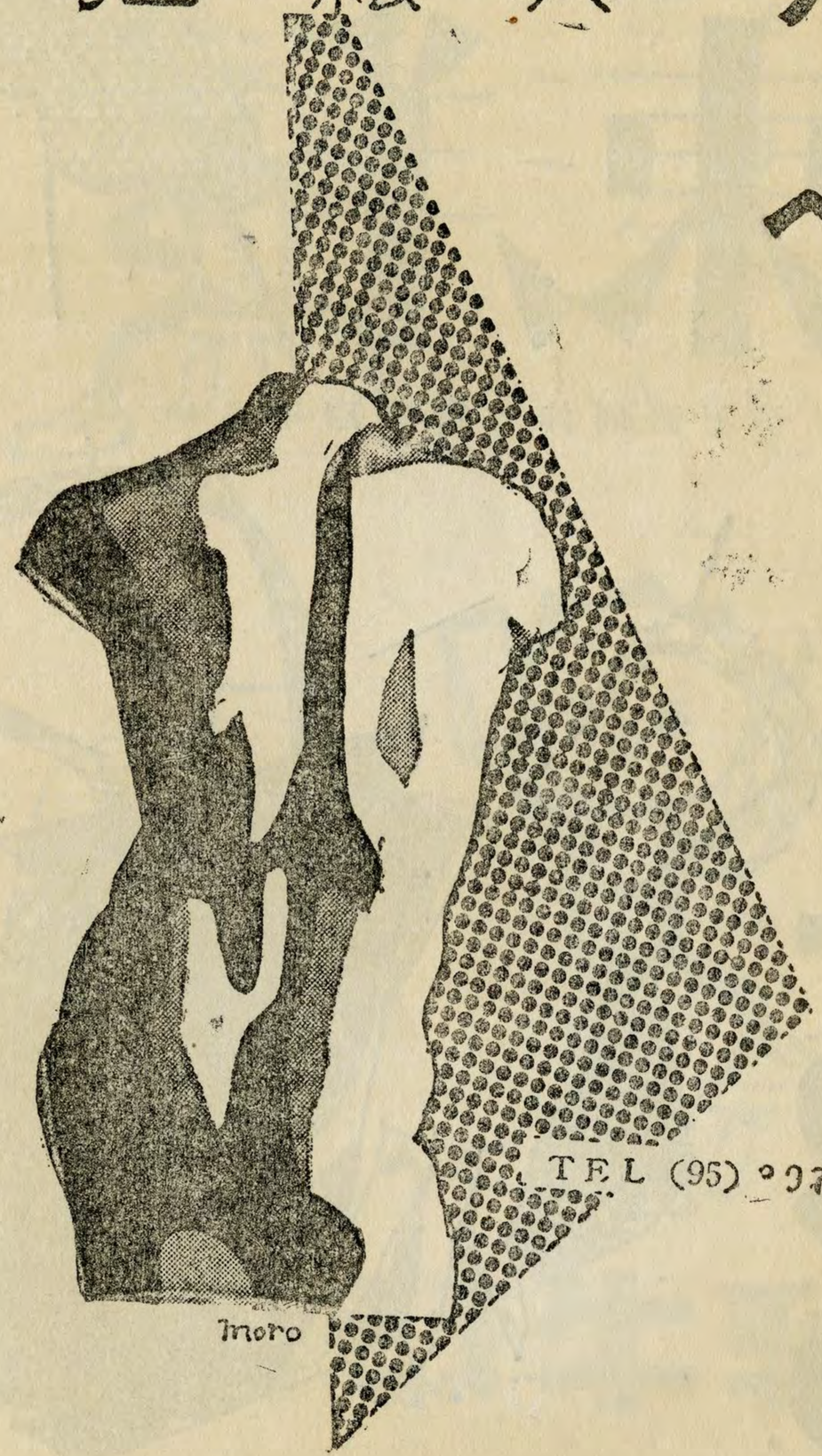
芸術祭こそ私達の日常の生活の精華です。いうまでもなく私達にとって新しい日本の芸術を創り出し、日本の文化を向上させ豊かな美しい住みよい国をつくること、世界の平和人類の進歩幸福のために尽すことこそ私達の願ひであります。私達が現代日本の貧困な社会にあってさまざまな障害にもめげず一生懸命勉強しているのもそのためです。私達は芸術祭において一年間の労苦の成果の喜びをわかち合うと共に、じっくりと自分達の姿をみつめ、学外の方からは卒直で建設的な御批判をいたゞいて、今後のよりよき発展に資したいと思います。私達の仕事は孤立してよくなし得るところではありません。芸術が真に国民自身のものとなるために私達は不断の努力をつゞけていきたいと思います。

美術学部　学生自治会
音楽学部　学　友　会

5849

クサカベ

専門家用
油絵具



芸大コーラス第二回發表会

11 月 6.7 日 午后 5 時 30 分音楽学部奏楽堂

曲 目

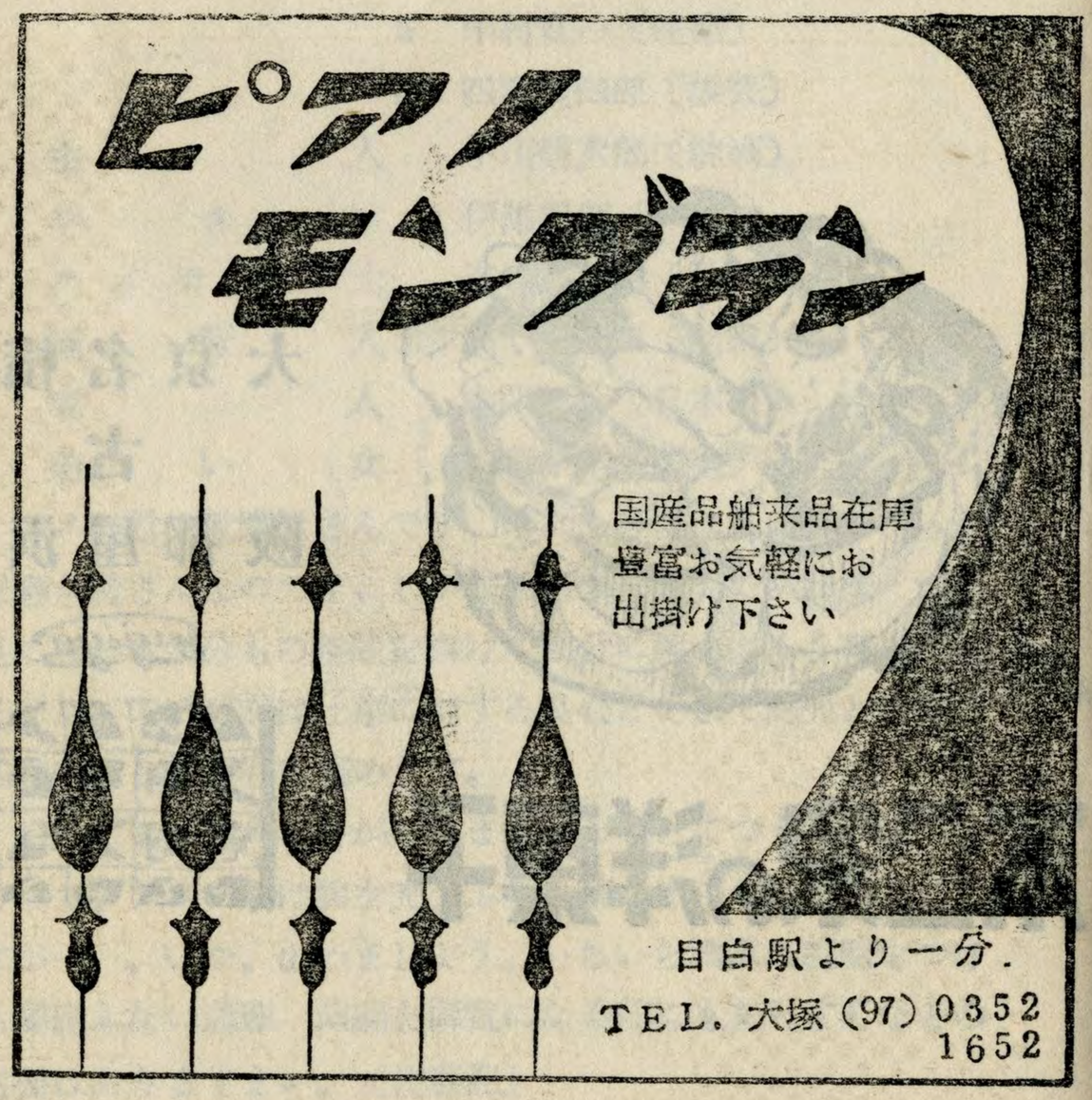
1. うぐいす　アラビエフ
2. 行商人　ロシヤ民謡
3. 仕事のうた　〃
4. ヴオルガ下り　〃
5. てまりうた　日本古謡
6. かぞえうた　〃
7. とおりやんせ　〃

指揮　田中信昭

陶磁器研究會

楽燒研究

場所　美術学部校門横



版画部

展覧会　場所　第三教室

実演　〃

即売　〃

日時　11 月 4・5・6・7日

スクエアダンス

日時　11 月 5～7 日
P.M.12～2

場所　美術学部前庭

ダンスパーティ

日時　11 月 5～7 日
P.M.4～7

場所　音楽学部 115 室

☆―――☆
☆―――☆

各メーカー品取扱
専門家及音楽学校在学生の方には特別価額にて奉仕致します
ピアノお求めの際は必ず一度は稲葉ピアノの社長に御相談下さい御相談に応じます
技術本位の店 稲葉ピアノ社長 稲葉綱雄

稲葉ピアノ

[redacted]
INABA PIANO INABA PIANO INABA PIANO

美

都内一
隨

高級アクセサリー
專向店

舶来品
国産品
皮製品
各種豊富

東洋

どうぞ御同伴で御来店下さい

TOYO

新宿中央通オリンピック隣
電話　四谷　2945番

チュウチュウ
うまい

モリモリ
げんき

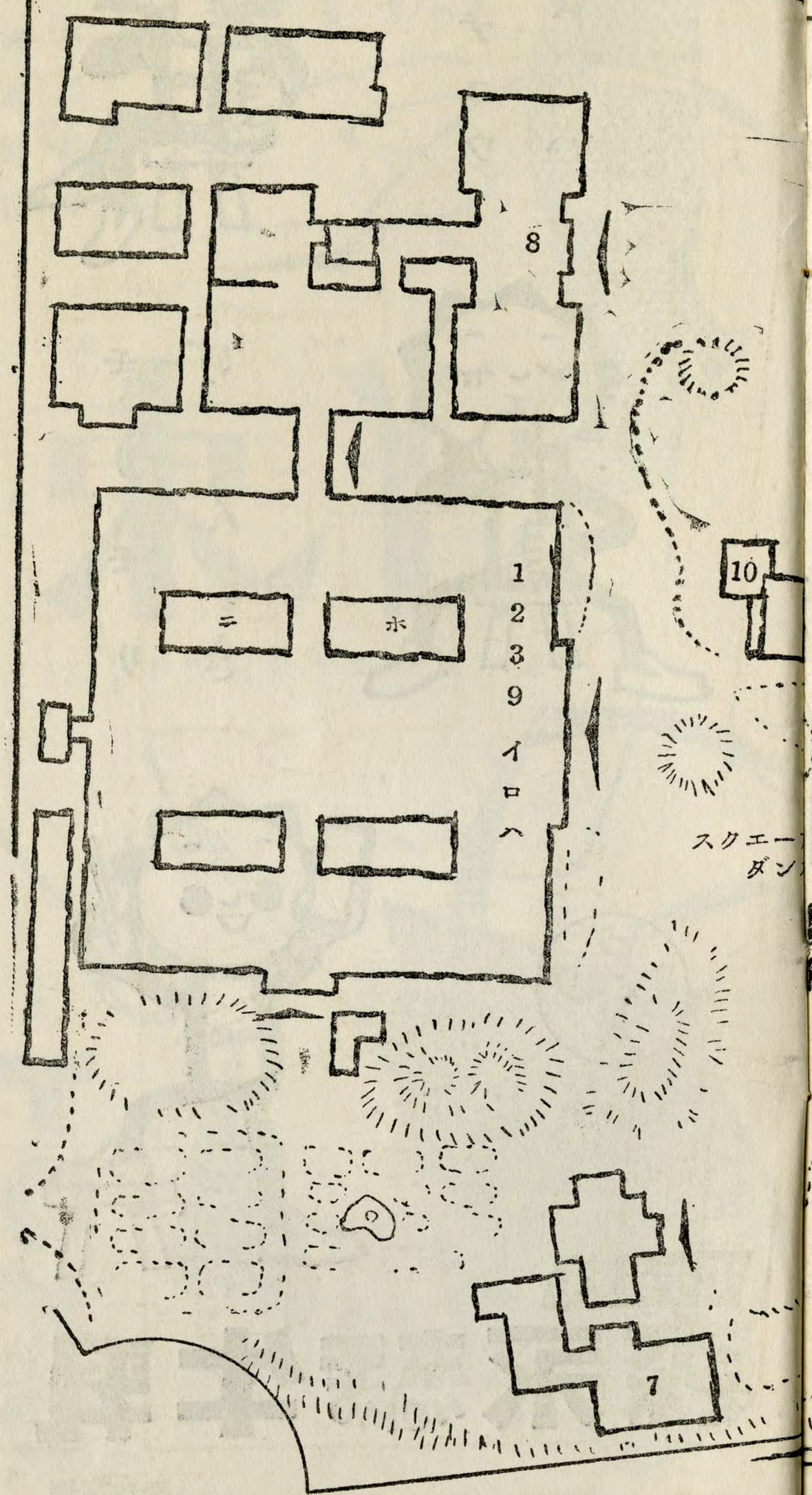
森永乳業

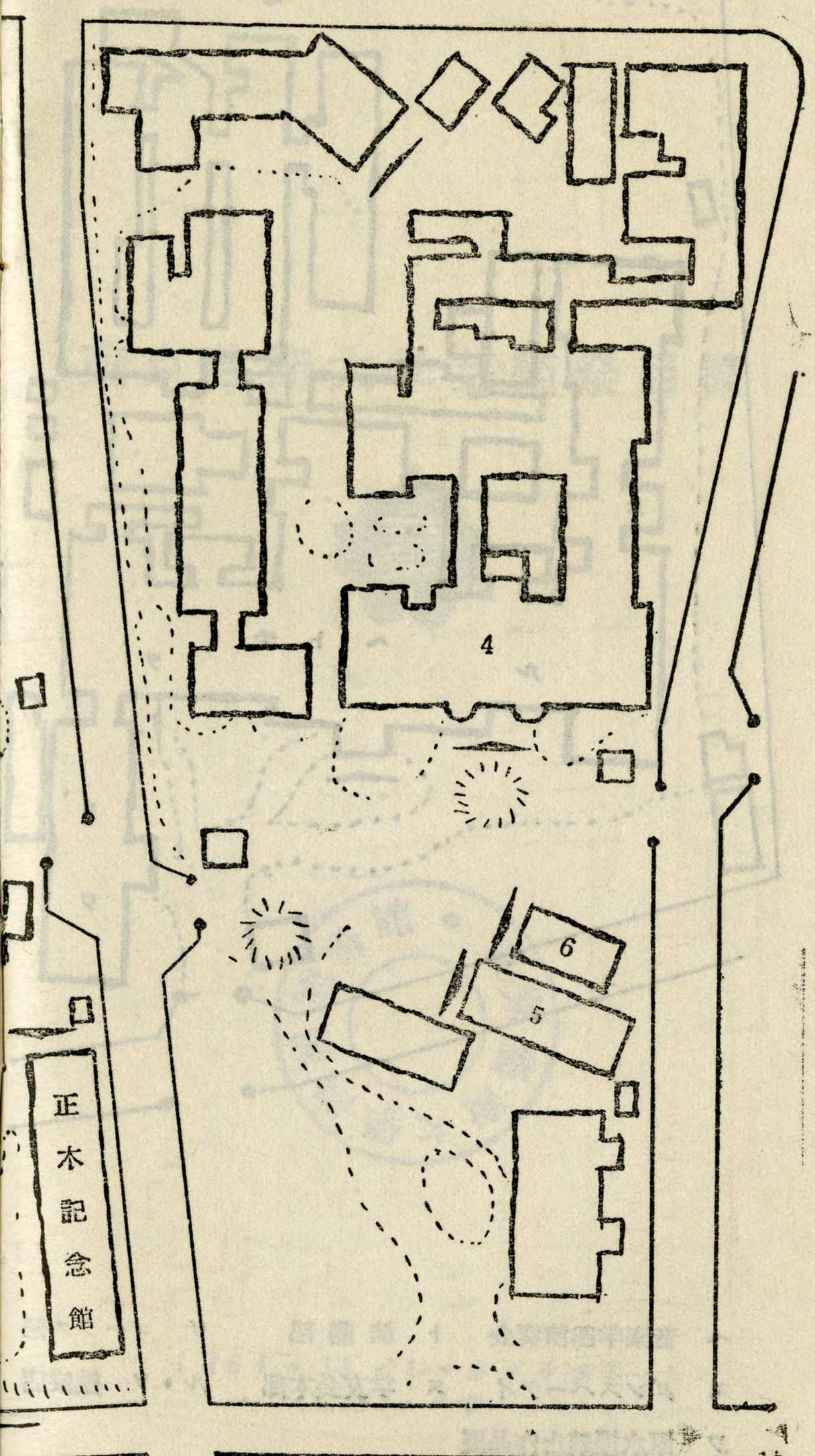
ビタミン入
森永ホモ牛乳
HOMO

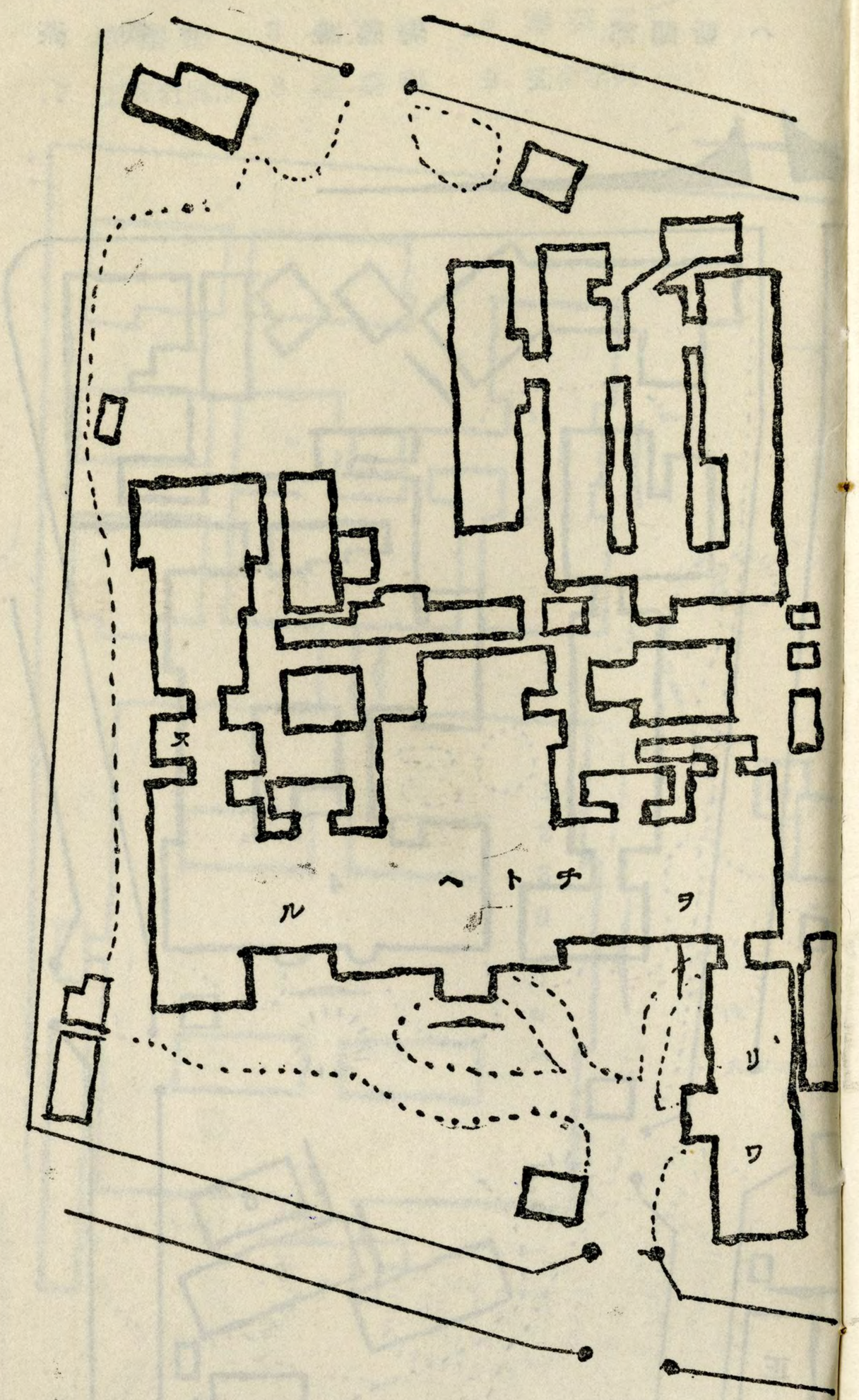
登録商標

1 日本画科　2 油画科　3 彫刻科（石井，菊地）
4 図案部　5 金工部　6 漆芸部
7 工芸計画部　8 建築科　9 芸術学科

10 自治会本部　イ 版画部　ロ 互助会
ハ 新聞部　ニ 陶磁器　ホ 喫茶





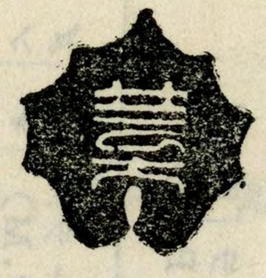


ヘ　音楽学部演奏会　　ト　演劇部　　チ　コーラス部

リ　ダンスパーテイ　　ヌ　学友会本部　　ル・ヲ　模擬店

ワ　原水爆禁止作品展

東京芸術大学芸術祭目錄



東京芸術大学図書館

1954・11・1・3・4～7

日程

	音楽部	学部	美術学部
11月1日	体育祭 (10. A.M)		
3日	前日祭、ブラスバンド	仮装劇 (10. A M)	
4日	邦楽演奏会 (1. P.M)	オペラ「魔笛」(3. P.M)	演劇
			映画 (国立博物館、講堂) (12. 30. P.M) 演劇
			作品展示
			模擬店
5日	LP. コンサート (11.A.M)	作品発表会 演奏 (1.30. P M)	男声コーラス (3.30. P.M)
			フォーク・ダンス (12. ~2. P.M)
			ダンス・パーティー (4. ~7 P.M)
6日	LP コンサート (12.30. P.M)	学友会管弦楽団 演奏会 (2.30. P.M)	コーラス (5. 30. P M) 演劇
7日	学友会演奏会 (1. P.M)		コーラス (5. 30. P.M) 演劇

邦樂演奏会

11月4日（木）午後1時

宝生流仕舞　枕慈童
当山 興道　地謡　当山 俊道
宝生 教官
佐野 教官

観世流仕舞　笠之段
月岡 祥子　地謡　山階 教子
丸山 登喜江

観世流仕舞　玉葛
福井 道子　地謡　山階 敬子
丸山 登喜江

宝生流仕舞　百万
細野ヒロミ　地謡　当山 俊道
宝生 教官
佐野 教官

観世流仕舞　松風
沖 宗久　地謡　山階 敬子
丸山 登喜江

生田流箏曲　数へ唄変奏曲
箏独奏　大月 宗明

山田流箏曲　嵯峨の秋
箏替手　小山 和子
室伏 由貴子
箏本手　新藤 たま子
井口 多樹子

長唄　鶴亀
唄　吉住 隆雄　三味線　味見 了
宮田 哲男　森 俊巳
田中 淳子　今井 君子
近藤 登喜子　上調子　杉浦 弘晏
沢口 沢子

生田流箏曲　虫の武蔵野
箏　松浪 貞子　三絃　上参郷都江子
吉田 幸子　藤田 明子
坂倉 英子　加納 理恵
飯田 志満子

（解説は次頁）

枕慈童　四番目（遊楽物）七百才の慈童を取り扱ったもので、仕舞は枕の妙文より滴る不老不死の薬を臣下に勧め、自分も飲んで君の聖徳をたゝえ、芧を押し分けて、元の庵に帰って行った所を舞う。寿筵などに好んで謡われる祝言物で、太平記巻十三の竜馬進奏の事より出典されたものである。

笠の段　四番目（男の狂乱物）拾遺集の和歌を主題にしたもので、作者は世阿弥と思われる。夫が芦売りとなった時に妻と再会する直前に妻の臣下と芦に付いて問答した後に笠尽しの舞を舞う。能では笠を持って舞うのでここを笠の段と云う。

玉　葛　四番目（狂女物）源氏物語玉葛の巻によっている。作者は金春禪竹である。仕舞は玉葛の霊が昔の事をざんげして妄執を晴らす所を舞う。

百　万　四番目（狂女物）能の先身である曲舞を主材としている。夫に死別し、子に生き別れて狂気となった母親があさましい姿を人々にさらして子を探し嵯峨野寺に来り、その法の尊さを説いて舞う。

松　風　三番目（鬘物）亀阿弥の原作を観阿弥が改作し又それを世阿弥が改作したものと思われる。松風、村雨、二人の海女の悲恋を取扱っている。幽玄を第一とした世阿弥の作風が表われており美しいものである。

・・・・新刊・発賣・・・・

P・Gオニル　<日本留学記念>

AGUIDE TO NŌ

——能二百四十番英文解説——

36判クロース美装ハンドブック　¥ 360

能勢朝次博士　<還暦記念>

能樂・芸道　論文七篇

B6判上質紙250頁高雅　¥ 200

神田小川町2の1　檜　書　店

嵯峨の秋　歌詞は平家物語の小督の局の一節で、琴の音をたよりに小督の局を尋ねる仲国が、もの淋しい秋の暮嵯峨野のあたりを月の光に誘われて行くうちに、片折戸した家から洩れて来る想夫恋の曲によって局を探し当てる物語を大阪の菊末検校が作曲したもので、手事はその内容をよく暗示しており、明治前半の代表作の一つである。

鶴　亀　嘉永四年十二月に出来た物で歌詞は謡曲観世流の鶴亀と殆ど同じで作曲は十世杵屋六左衛門である。御祝儀物として六三郎の「老松」と相並んで双璧と称すべき作品であろう。唐土の朝延春の初めの節会の日、皇帝叡覧の前で千年万年の長寿を保つ鶴亀に擬えた舞を舞う。即ち世界を唐土に取って君万歳を祝した曲である。長唄では一般に御祝儀物、特に初春の物として持囃されている。上品で家庭長唄としても非常に良いものである。

虫の武蔵野　磯部艶子の歌に宮城道雄先生が音楽々校の生徒の為に作られた箏、三弦の合奏曲である。

・わんやの能楽図書・

川瀬馬　校註花伝書（風姿花伝）　一五〇円　〒二〇円

川瀬馬　校註花鏡（附至花道九位）　一三〇円　〒二〇円

三宅藤九郎　狂言鑑賞　一五〇円　〒二〇円

山本東次郎　間狂言の研究　一八〇円　〒二〇円

目録書呈
図進

版元　わんや書店
千代田区神田神保町三ノ九
港区芝新橋一ノ八
振替東京四一六三番

オペラ「魔笛」 モーツァルト作曲 （演奏会形式）

11月4日（木）午後3時

独唱	パミーナ	浜田尚子
	パパゲーナ	上村圭子
	パパゲーノ	立川澄人
	タミーノ	石井昭彦
	サラストロ	金慶埴
	モノスタトス	川口裕男
演奏	学友会管絃楽団	
合唱	学友会合唱団	
指揮	田中信昭	

第一幕より

1　パパゲーナのアリア　〃俺は鳥刺しでござる〃

2　タミーノのアリア　〃汝が絵姿は〃

3　パパゲーノ、タミーノと三人の侍女の五重唱

4．終　曲

第二幕より

1　サラストロのアリア　〃イージスとオジリスの神よ〃

2．パミーナのアリア　〃吾が幸は消え失せぬ〃

3．パミーナ、サラストロ、タミーノの三重唱

4．パパゲーノのアリア　〃乙女か婦人が欲しい〃

5　終　曲

《解　説》

第一幕

1．パパゲーノの詠唱――恐ろしい大蛇に襲われて気絶していた王子タミーノが眼をさました所へやって来たパパゲーノが歌う民謡風な楽しい歌。

〃俺は陽気な鳥刺しでござる世界中老いも若きも知らぬものはない。網で娘達をつかまへて俺のものにしてやりたい。そして一番気に入った娘に甘いキッスをしてやって俺の女房にしてやろう〃

2．タミーノの詠唱――夜の女王の三人の侍女がタミーノに、女王の娘パミーナの絵姿を見せて彼女をさらって行った魔法使の所から助け出す使命を申し渡す。タミーノはその得も云えぬ美しい姿に心を奪われ、使命達成を誓う。まことに美しいテノールのアリアである。

3　五重唱――三人の侍女が退治した大蛇を俺が殺したのだと嘘をついたパパゲーノの口に錠がおろされてしまう。パパゲーノは口がきけないので「フムフム」云いながら曲は始まる。やがて許され錠を外された彼と、タミーノ三人の侍女で見事な五重唱が歌われる。

4　フィナーレ――夜の女王から鈴をもらったパパゲーノを従へてタミーノは、これも女王から贈られた魔法の笛をもって、サラストロの城に向う。魔法の笛を吹き先に斥候に出したパパゲーノと合図しパミーナを助けようとするが見張り役モノスタトスの部下につかまってしまう。そこで魔法の鈴をならして彼等を踊らせ、その間に逃げようとするが、サラストロが現われ、試練の寺院に彼等を導き魂を清めんとする。

第二幕

1　サラストロの詠唱――イージスとオジリスの神に向って、タミーノとパミーナが試練に堪え得る様祈る歌。低いバスで歌われる極めて有名なアリア。

2　パミーナの詠唱――タミ　ノとパパゲ　ノが無言の行をさせられている。そこへタミ　ノの笛の音を頼りにやって来たパミーナが彼等二人が、ものも云わずにソッポを向いているのを見てもはや自分の事など見捨てられてしまったかと悲嘆に暮れる歌

3．三重唱――パミーナとタミ　ノの行が終りに近づいて、サラストロは最後の試練のためタミーノにパミ　ナへの別れをつげさせる。パミーナは驚くがタミーノは自分はもう行かねばならない。サラストロも、又、再会出来るのだからとはげまし別れを告げる三重唱である。

4　パパゲーノの詠唱――酒に酔ったパパゲ　ノが鈴を振りながら歌う楽しいアリア

〃パパゲ　ノ様は娘っこか女が欲しい、可愛い人が出来ればこの世は天国飲んだり食ったり王様の様に暮すのだ、若し誰も俺を愛して呉れなかったら死ぬ程つらい思いをするだろう。だが女の子が甘いキッスをしてくれりや俺はそれでもうすっかり有頂天さ。〃

5　フィナ　レ――パパゲーナを失った、パパゲ　ノが悲しみのあまり自殺しようとする。二人の童女にとめられ思い出して鈴を鳴らすと、その音にパパゲーナが現れる。ここで喜びの二重唱が歌われ、最後にイージスとオジリスの神を讃え、強いものは勝ち、〃美〃と〃智〃は永遠の栄冠を克ち得ることを合唱して幕となる。

（時間の都合でフィナ　レの前半は省略される）

作品発表演奏會

11月5日（金）午后　時30分

（　）内は演奏者

1 邱 捷 春　歌劇「屈原」序曲
——一台のピアノの為の——
（ピアノ　大月富士子
〃　岩井　真澄）

2. 丹波　明　子供のためのお話（ピアノと声楽による）

3. 石井　和子　ヴアイオリンとピアノの為のソナタ

4. 南　弘明　弦楽奏者四人のための小曲
（第一ヴアイオリン 海野良夫　ヴイオラ 村山　弘
第二ヴアイオリー 蓬田清重　セ　ロ 蔵田清隆）

——休　憩——

5. 加藤　徹　歌　曲　（独唱　中野　靖子）

6. 川島　博　ピアノの為の作品　（笠間　春子）

7. 金光威和雄　ピアノの為の小品より三曲
（水本　雄三）

8. 山岸　磨夫　木管とホルンの為の組曲より二曲

9. 原　博　ピアノの為のフーガ

10. 飯田　規人　ピアノ組曲　（中川　和義）
テーマ・プレリュード・
バッサカリア・フーガ・フィナーレ

男声合唱演奏会　11月5日（金）午后3時30分

26年入学声楽科有志

黒人霊歌　マーシャル・バーソロミュー　編曲

1　ゆれるよ、ほろ馬車
2. こゝなら聞えない呼びさわぐ祈りが
3. お前もそのひとりか
4. ジェリコの戦
5. 風が身にしみる
6. けだものが来た

レコード・コンサート　解説　楽理科二年

11月5日午前11時

Carissimi　《Ephte》

Covelli：《Christmas concerto》

学友会管弦楽団演奏會

11月6日（土）午后2時30分

指　揮　三石精一
岩城宏之

ピアノ独奏　中根伸也

1. シベリウス
悲しきワルツ

2. モーツアルト
交響曲第39番

——休　憩——

3. ラフマニノフ
ピアノ協奏曲　第二番

4. 助川敏彌
真鍋理一郎
山本直純
} 合　作

学響のためのディヴエルティメント

レコード・コンサート　解説　楽理科二年

11月6日午后12時30分

現代音楽

《曲目未定》

学友會演奏會

11月7日(日)午后1時

1 ショー・ソン　詩　曲
ヴアイオリン独奏　海野　良夫
ピアノ伴奏　小林　仁

2. ベートーヴエン　奏鳴曲　ハ長調　作品35
(ワルドシュタイン)
ピアノ独奏　瓜原　一勲

3. ジュニン　ヴエニスの謝肉祭
フルート独奏　高橋　成典

4. ボエルマン　交響変奏曲
チエロ独奏　吉見　使思
ピアノ伴奏　鈴木　雅恵

——休　憩——

5. モーツアルト　「ドン・ジョバンニ」より
レオンカヴアルロ　「道化師」より
重唱
ソプラノ　本多満里子
バリトン　田中　義登

6. ラヴエル　逝ける王女のためのパヴアヌ
他　曲
ヴイオラ独奏　平井　光
ピアノ伴奏　堀江千恵子

7 バツハ＝ブゾーニ　シヤコンヌ
ピアノ独奏　種田　直之

8. サラサーテ　ツイゴイネルワイゼン
ヴアイオリン独奏　日高　毅
ピアノ伴奏　中川　和義

原水爆禁止作品展

水爆実験の最初の犠牲者として久保山さんが亡くなつたのはつい先頃のことでした。しかも私達はすでに二回の原爆によつて何十万という同胞を失つたのだ。私たちは放射能の峡谷にいる。そして、人間の愚劣さが頂点に達した時殆ど一瞬にして、私達自身は勿論、私達が現になし又先人達が営々として築いてきた偉大な人類の文化も、又私達の大事な子孫も壊滅してしまう危険にさらされている。私たちは人類の進歩や幸福のために真剣になつて仕事をしているのだ、だから叫けばないではいられない。原水爆の使用禁止を！　原子力の平和的利用を！　こういう私たちの心からの願いはこゝに数数の作品を生み出させました。私たちの力は弱いかもしれない。しかし私たちの善意は確かに全人類のものであり、やがては全世界の人々と手をとり合つてこの願いが実現せられるものと信じている。私たちはこの願いの達せられる日まですべての人達と力を協せあらん限りの努力をしようとおもつている。

美を創るとき……
芸術の秋は
美をつくるとき
美しい歯を
つくるときです
練の練　三〇円・五〇円
七〇円・一〇〇円
クロロフィル
ライオン煉歯磨
歯刷子もライオン

油画科

一年

阿部まり
生長津子
池川司郎
磯辺行久
井田秋雄
伊藤隆康
井上悟
今井治男
岩本和子
歌田真介
江村正光
生頼範義
小野功夫
笠置太朗
神田和江
工藤哲巳
近藤信道
阪本文男
佐藤章太郎
島田章三
堰合昇
高松新八郎
田中鮎子
知見昭男
塚谷淳子
鶴岡弘康
中田一路
中西夏之
中村清治
野間伝治
橋本博英
羽田良美
林啓二
林口悦子
広瀬俊恵
藤本辰夫
古田正明
堀三千三
堀内袈裟雄
桝田達雄
松川美枝子
山岡淳一
山口はるみ
吉野順夫
米原明美

二年

青葉潔美
秋山克美
稲葉治夫
今福隆子
岩永朝也
大畑俊夫
奥本喜一郎
尾崎愛明
折登洋
加藤昌範
笠井誠一
鎌形彬夫
木村和夫
後藤三恵子
佐藤竜一
重田良一
清水潔

三年

清水孝
高山尚
竹田鎮三郎
竹村和夫
田中博之
土屋昭雄
豊島弘尚
豊福孝行
中川正
中村礼子
根岸茂行
野本政子
針生鎮郎
星守雄
松本明
松本英一郎
松本宏
松元富美子
前田啓
牧田篤
森岡和子
矢田健爾
吉田佑子
吉野谷幸重
吉本弘
渡辺恂三
和仁壮六
青木正夫
荒瀬芙蓉子
池通男
石川享
伊藤厳
今村照子
太田忠志
大東和人
小此木桂作
小川徳次郎
小田洋晴
木俣真
久保庭愛子
榊原伸吉
坂手恒雄
佐々木四郎
篠原牛男

彫　刻　科

会場　第1　彫刻科　1年教室

第2　実技教室

第3　油画科教室

（油画科つゞき）

進藤　蕃	秀平	晋三	
須賀　万知子	桧山	健一	
鮭川　泰三	福本	章子	
玉川　利子	藤岡	雅夫	
田丸　光雄	藤田	忠人	
筒井　孝	降矢	組量	
寺尾　万里子	堀江	夫	
中川　宗彌	松山	忠子	
中村　節夫	森	文子	
布宮　俊彌	山神	智子	
蓮尾　一朗	山田	進久	
秦　実枝子	山内	秀臣	
張替　真宏	渡部	大作	

日本画科

一年

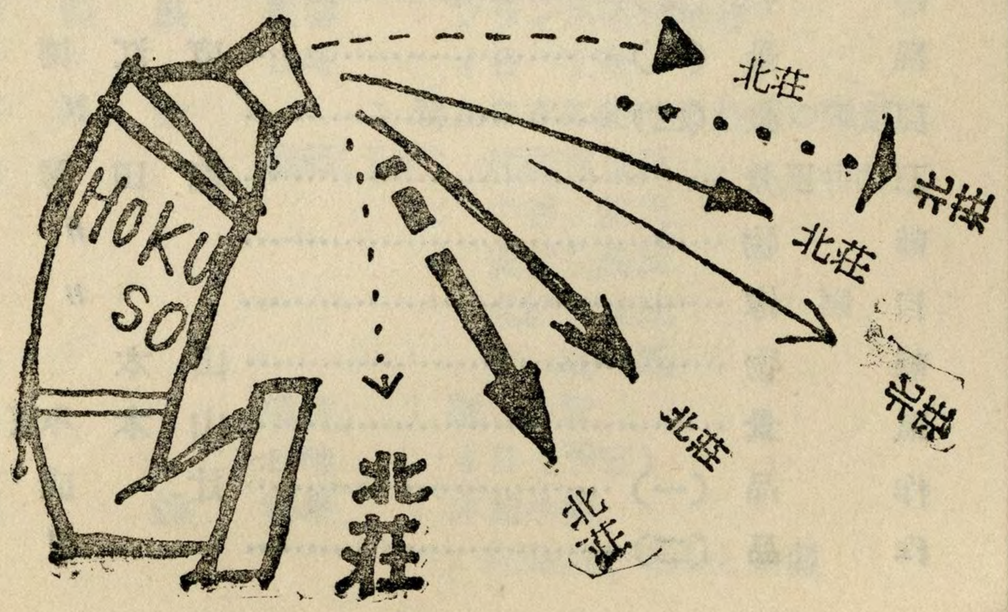
井浦せい	永井四郎
五十嵐道夫	萩野美智子
犬飼康夫	福田加代子
樫村静子	前田香枝
片岡鋭	宮本尚彦
川合恭子	安井兵太
神内生光	山本俊子
小林恒吉	米田和子
坂本昌子	
篠崎英子	
関口正子	
田沢栄太郎	
内藤楽子	
二葉孝一	
本多孝次	
宮内美与	
吉田茂	
馬瑛	

二年

青木重夫	
淵脇和子	
浅見信夫	
飯塚万千子	
五十嵐正	
畔柳孝子	
高村譲	
多田明	

三年

照井恵子	
飯田繁	
石原和子	
今井昭吾	
上北勇	
岡部良之助	
葛城かほる	
加藤敏夫	
楠本正明	
桑山忠明	
小島昇	
小山礼司	
斎藤孝夫	
榊原幹子	
椙本三枝子	
塚原哲夫	
本間正英	
村田敦子	
本橋富夫	



藝術学科

芸術家が現実性を獲得するために行う過程は必然的に理論と実践にあるけれども今世紀初頭以来の芸術は両者を混乱した故に単なる記号に堕した。こうした矛盾を知り、到る処に存在する美と真実とを見出す多くの契機がこの科には存在すると云える。

1 展覧會作品目録

一 年

家	宇高襄
景色	〃
風景	遠藤恒雄
静物	〃
風景	小坂部江以子
静物	〃
風景	鹿島良子
静物	〃
人物	川上実
風景	〃
自画像	小島恭三
人物	〃
無題	三水篁
石川島	白石信之
静物	〃
自画像	高井通博
静物	武村寿美子
風景	富岡小枝子
静物（1）	〃
静物（2）	〃
風景（一）	直江博史
風景（二）	〃
石神井風景	福田徳樹
静物	〃
自画像	〃
静物	山本清
風景	山本みどり
作品（一）	辻成史
作品（二）	〃

二 年

人物（一）（二）（三）	石村洋子
風景	村山鎮雄
人物	入江観
風景	〃
風景	間部三千子
風景	休場曉子
風景（ ）（二）	植田寛治
風景	森雅雄
風景	白幡正史

三 年

作品	小関利紀也
首	熊坂克子
〃	〃
風景	仁田原英二
風景	秦栄子
自画像	〃
作品（1）（2）	加藤武利
石川島	〃
風景	千野昭代
習作（ ）（二）	足立健郎
習作	陰里鉄郎
海景	太田洋三
風景（一）（二）	〃
習作	横山了平
静物	〃
風景（一）（二）（三）	〃

2. 美術スライド　内容　：インド・マニラ紀行
　　阿部展也氏製作解説
　　：ドラン追悼
　　佐藤邦夫
　　：芸術と社会
　　日時　：7日　1時
　　場所　：1番教室

3. 複製展　内容　・フランス近代絵画
　　日時　・4日　1時

4. 討論会　現在日本に於ける芸術の課題
　　講師（予定）佐藤忠良氏
　　中谷　泰氏
　　安部公房氏
　　北沢方邦氏
　　辻　荘一氏
　　場所　：講　堂
　　日時　・4日（予定）

5. 楽焼　場所　・本館中庭
　　陶磁器研究会と共催

建　築　科

現在の日本において住生活の問題は、極めて深刻な問題である。建設省の国営アパートなどで既に解決への試みがなされている。私達は昭和二十七年度の芸術祭においては、「住」について基本的問題を採り上げたが、今年度は再び住の問題を、デザインと云う立場から、次の様な項目に焦点をしぼって掘り下げて見た。

一、構造とプランの合理化

一、設備の集中化

一、標準化

この様な問題から私達の提案は、一つの解決とはならなかつたかも知れないが、一つのケーススタディーとして見ていたゞきたい。

工藝計画部

○テーマを「住」のインダストリアルデザイン的見方とし各人このテーマに従つて出す

○会場　造形教室（工芸計画部）

★―――★

★―――★

金　工　部　会場　第二塑造教室

彫金	伊藤千佐子	鋳金	伊沢正夫
〃	国宗絢子	〃	関四郎
〃	菅原靖	〃	土肥陶
〃	鈴木節子	〃	内山熙
〃	鈴木久夫	〃	佐藤錦
〃	田所茂男	〃	高田直彦
〃	平田武	〃	古野朝紀
〃	北郷久範	〃	宮崎昭司
〃	前田繁康	〃	山中俊夫
〃	石原敬三	〃	井上賢輔
〃	川上多賀子	〃	嶋本久寿彌太
〃	川添不美雄	〃	高橋キヨ
〃	亀倉康之	〃	竹内兼治
〃	酒井謙次	〃	播磨通弘
〃	西脇礼子	〃	浦勇
〃	平尾京子	〃	遠藤和彦
〃	酒井公男	〃	城戸茂章
〃	佐藤好伸	〃	小林貢
〃	篠和子	〃	近藤明夫
〃	鈴木健司	〃	船越光夫
〃	中沢千枝子	金工	秋元春雄
〃	中島俊雄	〃	加藤雅彦
〃	上郁夫	〃	小林ヒサヱ
〃	柳川織具	〃	近藤イサム
鍛金	橋本鈞	〃	佐々木清和
〃	小原久雄	〃	長久雄
〃	大須賀選	〃	築地六郎
〃	新山栄	〃	鶴岡鉦次郎
〃	山本卓	〃	長谷川伸三郎
〃	池田清美	〃	林利根
〃	栗田雅	〃	林美和子
〃	高橋省次	〃	原正樹
〃	宮田修平	〃	平山英
〃	八田敏郎	〃	真木寛
〃	宮代豊	〃	蒔田鉄男
〃	渡辺勝	〃	矢吹公郎
鋳金	池田端	〃	吉川勝也

工藝科漆芸部

出品作品(当日,会場にてネックレス,ブローチ等即売します)

一年	斉藤瞭二	作品、A
	丸ノ内木芽	〃 1
	川上博子	パネル(一点)
	高島輝男	作品、1
	丸山高志	〃 B
	駒井珠江	モザイク
	永田一輝	机、パネル
二年	江野真一	小筥、パネル
	榎本善之助	壺、1点
	古賀唯夫	タバコ入れ、花器、パネル
	小町谷朝生	作品、A、B、C
	鈴木康之	パネル、A、B、C
	野田行作	小筥、壺
	沼津とよ子	筥、パネル
	宮下美隆	乾漆習作、プロフイル、A、B、花器
三年	高木享	作品、A
	高木晃	〃 A、B
	遠矢徹	〃 点
	望月好夫	〃 一点
専攻科	大西慶憲	パネル、A、B、小筥1
	鈴木雅也	額皿一点
	巣山頼政	盆2点

株式会社

文化堂

小売部 TEL (29) 6902
卸部 都内文京区駒込千駄木町8
TEL (82) 1179

図案部

芸術祭のための各自の自由研究作品を1.2 3学年の教室に展示する

「アメデと靴磨台上の諸君」

演劇奏樂
宗教劇一幕

作　ジコール・ロマン
訳　岩田豊雄
演出　佐藤公信（工芸計画）
演出助手　小川慶一（図案）
装置　槽谷昌之（工芸計画）宇野耕司（工芸計画）
照明　松井宏方（建築）佐々木三代子（工芸計画）
音楽　中島美鶴（楽理）
衣裳　富樫直人（工芸計画）
小道具　吉田修二（漆芸）
效果　土肥陶（鋳金）石原和子（日本画）
経営　唐崎整子（声楽）
配役
アメデ　児玉敬（声楽）
靴磨台上にならぶ客 1　泉川治二（建築）
2　北園有利（図案）
3　三水篁（芸術学）
4　佐藤錦一（鋳金）
5　中村寛（建築）
6　四宮義四郎（漆芸）
主人　小川徳次郎（油画）
レオン　伊津野修（声楽）
ハイカラ紳士　進藤蕃（油画）
通行人　角陽（油画）
老人　本間正英（日本画）
若い女　安藤早苗（図案）

アメデ君は靴磨屋さんです、それも非常に良い腕を持った靴磨き屋さんなのです、しかし靴磨きも商売であれば　つ〻足に五分も十分もの時間を掛けて充分に腕をふるう事も出来ません。アメデ君は仕事に対する良心とそして商売との板ばさみになり大変心を痛めます。

しかしここに大事件が起ります。このとてつもない事件によって、アメデ君は腕を充分ふるう事が出来る様になるのですが　。いや、止めましよう。いちいち酒落に説明をつける馬鹿もない道理　演劇を御覧になる前にもあらすじなどの必要はありますまい。（佐藤記）

映　画

5日 P. M. 1～

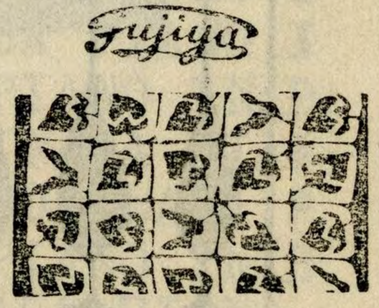
於　國立博物館大講堂

主催　映画研究会

英国総天然色映画〃赤い風車〃

其の他文化映画

東横名京大
古
京浜屋都阪



新　聞　部

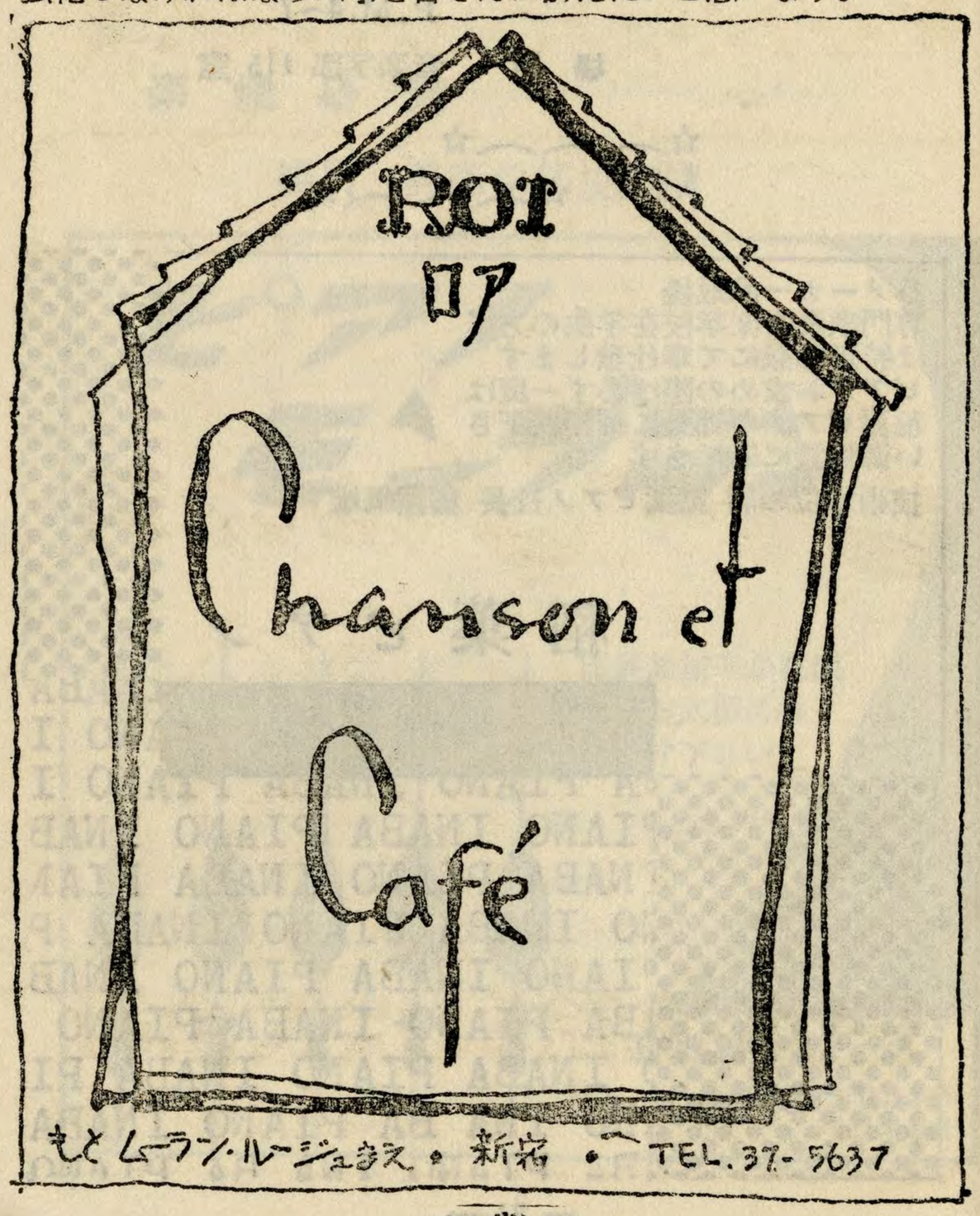
水爆の実態

久保山さんは遂に死去されました。全国民は今本当に心の底から平和を希む気持ちで毎日を送つてい ます。水爆、原爆の使用続行を叫ぶ人は恐らく無智かどん欲のとりことなつている人達だけでしよう。今私達新聞部では水爆がどんなに恐しいかを皆様と共に学び明るい平和な明日への資料としたいと思います。

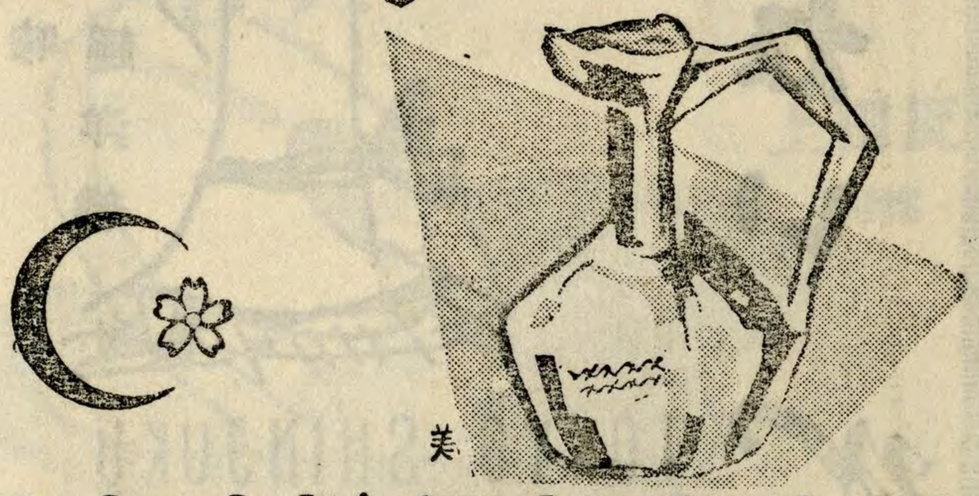
互　助　会

生活実態調査展示会について

私達学生の生活は極度に苦しくなつて来ている。誰でもがそう感じているが実体はどうであろうか。こゝに展示された芸大美術学部の学生の生活状態は一体何をあらわしているのだろうか。私達の生活は私達自身で守らなければならなくなつています。私達はこの結果からも今後互助運動をますます強化しなければならぬ事を皆さんに訴えたいと思います。



文房堂特製
専門家用油絵具
最良の原料と秀れた技術で製られる、お馴染のふかい文房堂製の油絵具をお薦めします。
文房堂
神田スルガ台下

純質専門家用
ムーン油絵具


日本油絵具株式會社
大阪市東淀川区三津屋中通三ノ一　出張所　東京都中央区八重洲五ノ三(28)8092

国吉康雄書集

日本が生んだ世界的画家ヤスオ・クニヨシの各時代の作品を収載
その全貌を網ら。近代美術館の遺作展全作品を原画から複製し、
印刷造本技術の上でも国際的出版。原色16グラビア59点B4版

¥2800. 〒100　　美術出版社

東京国立博物館　石沢正男・田沢譲　近藤市太郎・岡田垣　編集（B4判）

普及版 日本美術全集

全六巻

出版史上始めて完結された日本美術（上古江戸末期）の綜合的豪華全集の廉価普及版！

第一巻　絵画篇上
第二巻　絵画篇下
第三巻　彫刻篇
第四巻　陶磁金工篇
第五巻　染織漆工篇
第六巻　建築庭園篇

各巻・原色図版一〇　グラビア図版四〇　解説一〇〇頁参考　写真一〇〇点挿入

定価（各）一、三〇〇円（〒40）
全巻　払六、六〇〇円（〒共）

本全集の豪華版　全六巻一四、〇〇〇円（内容見本進呈）

東都文化
東京千代田区西神田2-4
振替東京 83154

行の応へ
刊に
亩に
方望
各要　遂

※第一回配本「第四巻」好評発賣中！以下毎月一冊発行

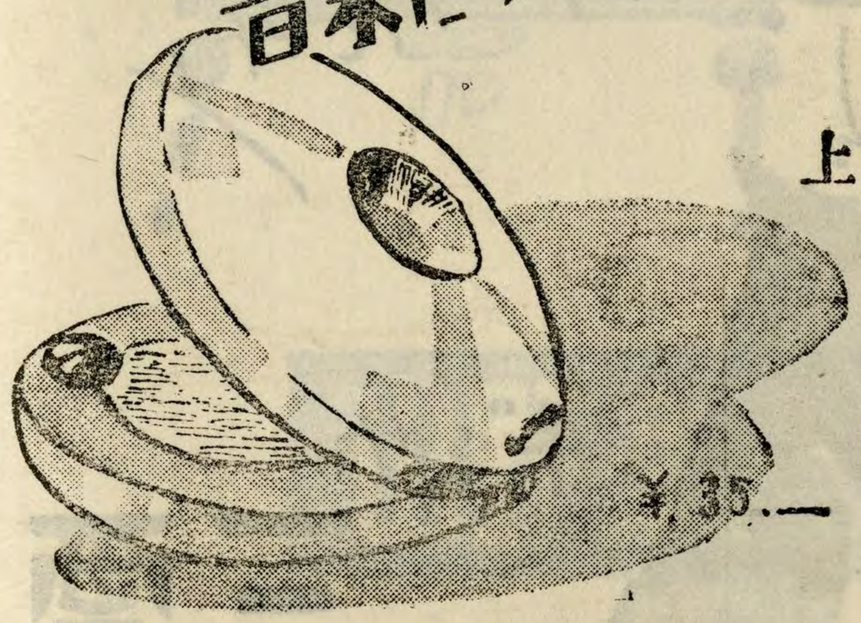
普及版を推薦する

昨年末に大冊全六巻の「日本美術全集」が見事に完結したことは出版界に嘗つてないことと喧伝されたが、今度その普及版が半値以下の廉価で刊行されることは非常によろこばしい。敢て、「諸君是非一本を供へ給へ」と言いたい（略）

東京国立博物館次長田内静三

ハンドカスタ

音楽に舞踊に遊戯に！



上田反亀
考案　監修

株式会社
白櫻社
東京神田神保町3ノ17　(33) 9790 3620

紀伊國屋の原稿用紙

戦前御愛用を受けました
原稿用紙が新装にて復活
致しました。

400 字詰四種・200 字詰一種マス
目の色はグレー・緑・赤の三通り

400字詰	50枚	120圓
	100枚	220圓
	500枚	1,000圓
200字詰	100枚	120圓

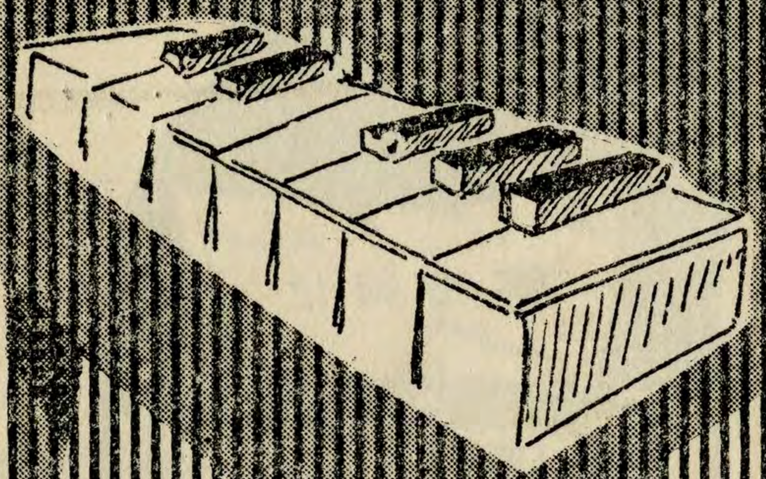
御執筆の際には紀伊國屋の
原稿用紙を御利用下さい。

紀伊國屋書店

新宿區角筈1-826・Tel(35)3566-7(37)131-3

東京銀座 4~2 TEL (56) 2917

ピアノ
YAMAHA



銀座7丁目 TEL (57) 5691～5

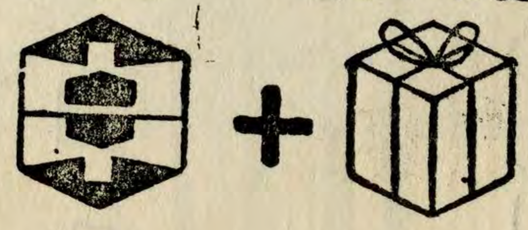
日本楽器

アクセサリーと
趣味の木芸品

ハワーリボン

新宿三越前

商品券　　楽しいお買物



■タカシマヤの商品券は
広い売場にいつも豊富な商
品を取揃えてございますか
ら　先様のお手で御自由に
商品を選んでいただけます

■タカシマヤの商品券は
完備した明るい売場で　お
買物の楽しみを同時にエン
ジョイしていただけます

■100円券より 10000円券まで
東京・大阪・京都 三店共通です

高島屋

東京 日本橋・大阪 なんば・京都 四條

最高再生音響壮麗
毎夜
特殊スピーカー 50 数個

ニューポン姉妹店
名曲珈琲店
上野松坂屋裏

祝芸術祭

船岡の
キャンバス

日本画材工業株式会社

浦和市岸町